



我が国は、コロナ禍からの経済社会活動の正常化が進み、経済の緩やかな持ち直しが続いています。一方で、深刻さを増す世界規模での気候変動や災害問題、資源価格高騰等による社会経済、国民生活への甚大な影響をはじめ経済を取り巻く環境の厳しさが増すなど、内外の難局に直面しています。また、2050年カーボンニュートラルの実現に向けた取組、経済安全保障の強化、分散型の国づくり等の新たな時代の課題にも適切に対応しなければなりません。

世界をリードするものづくり産業の中核都市である本市においても、慢性的な交通渋滞による経済損失、南海トラフ地震等の大規模地震の切迫や気候変動に伴い連年発生する風水害、加速化するインフラ施設の老朽化など、我が国同様に様々な課題を抱えています。

このような状況に加え、自動車産業の100年に一度の大変革期の最中にありより一層厳しさを増す中で、ものづくり産業の中核としてこれまで以上に日本経済を牽引し経済社会活動の確実な回復と経済好循環を加速・拡大させるためには、生産性の向上や国際競争力の強化などストック効果を最大化し波及効果の大きいプロジェクト等を展開することが不可欠です。さらに、防災・減災が主流となる安全・安心な社会の構築が必要です。

これらを進めるうえで、道路はポストコロナ社会の持続的な経済成長を支えるとともに、市民の命と暮らしを守り抜き未曾有の危機を克服する重要な社会基盤であることから、引き続き人流・物流の円滑化を図る道路ネットワークの構築、インフラメンテナンス及びDXの推進などの防災・減災、国土強靱化の加速化、通学路等の交通安全対策を積極的に進めていく必要があります。

このような状況を踏まえ、下記の事項について特段の配慮をよろしくお願いいたします。

- 1 防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策に必要な予算・財源を例年以上の規模で確保し、計画的に事業を推進するとともに、対策期間完了後も、予算・財源を通常予算とは別枠で確保して、継続的に取り組むこと**
- 2 経済活動復興や豊かで活力ある地方創りに資する道路ネットワークの整備について、計画的かつ着実に推進すること**
- 3 道路整備・管理に対する地方の切実なニーズを十分に踏まえ、資材価格の高騰や賃金水準の上昇に対応する中でも、必要な道路整備・管理が長期安定的に進められるよう新たな財源を創設するとともに、国・地方を合わせた令和6年度道路関係予算総額の満額確保を図ること**

## ■ 重点要望事項 ■

○太字は最重点要望事項

### 持続的な経済成長の実現

＜物流ネットワークの機能強化＞

○国道 301 号（松平バイパス）の早期整備

○（都）豊田刈谷線（一般県道宮上知立線バイパス）の早期整備

＜高規格幹線道路へのアクセス強化＞

○国道 419 号（四郷拡幅）の早期整備

・国道 301 号（益富拡幅）の早期整備

・国道 419 号（西中山バイパス）の早期整備

### 豊かで活力ある地方創り

＜市域の一体性・交流を支える道路の整備＞

・国道 301 号（根引林添バイパス）の早期事業化

**国道301号 松平バイパス ~トヨタテクニカルセンター下山へのアクセス道路整備~**

国際競争力・都市間競争力を高め、更なる産業の活性化を図るため新たな産業拠点へのアクセス道路の整備が必要です。

○下山地区に新たな研究開発施設として開設されたトヨタテクニカルセンター下山は、豊田市がものづくり中核都市として中長期の将来にわたる力強い成長を実現させる成長基盤です。

○施設への安全で円滑なアクセス道路を確保するため、**国道301号の整備** が必要です。

**交通課題**

野見山拡幅区間~研究開発施設の所要時間のバラツキが大きい

渋滞の遅れを余裕時間として見込むため  
所要時間のバラツキは生産性低下に直結する

約19分 → 約30分

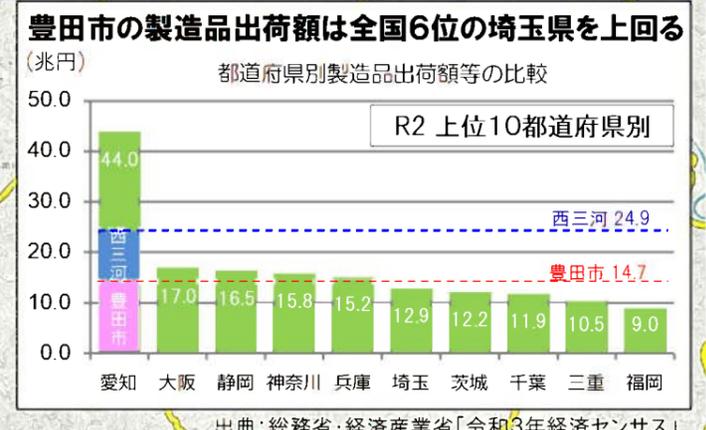
松平橋を先頭に混雑が発生 (写真①)

泉町2丁目交差点から東を撮影

急カーブ・急こう配など線形不良箇所が点在



人流・物流の円滑化や効率化による生産性の向上等、経済活動を支援



第2次緊急輸送道路の4車線化により緊急時の避難・救助機能を向上

ものづくりの技術革新を支える研究開発機能の集積地  
**トヨタテクニカルセンター下山**

事業面積 650.8ha  
 予定従業員数 3,850人  
 通勤及び関係車両 3,700台/日  
 (うち7割が国道301号を利用)  
**交通量が約1.3倍に!**

**令和6年3月より本格稼働予定**  
 令和元年より施設の一部運用開始  
 令和3年3月24日 造成地引渡し完了

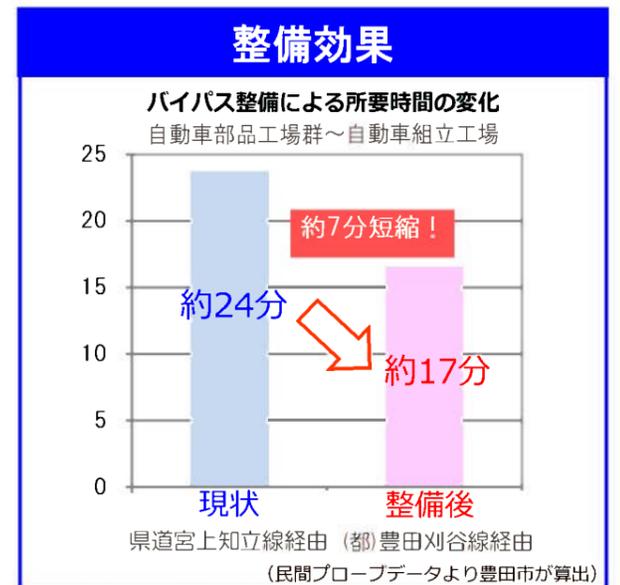
# ものづくり産業の基盤を支え高規格幹線道路へのアクセス性を高める道路整備

## (都) 豊田刈谷線 宮上知立線バイパス ~刈谷スマートICへのアクセス道路整備~

国際競争力の激化や労働人口の減少に対応するため、物流を円滑化し、生産性の向上に資する道路の整備が必要です。

○豊田市の南部地区は、自動車産業における主要な工場が集積しており、豊田南ICや周辺幹線道路に交通が集中するため、地域の主要渋滞箇所を中心に慢性的な渋滞が発生しています。

○円滑な移動を確保し、物流の効率化や安全・安心な道路交通環境を実現するため、(都) 豊田刈谷線の整備が必要です。



工場間や刈谷SICへのアクセス性が向上し、国内外に向けたサプライチェーンを強靱化

通過交通や大型車交通の機能分担により、現道区間の混雑の緩和や安全性を向上

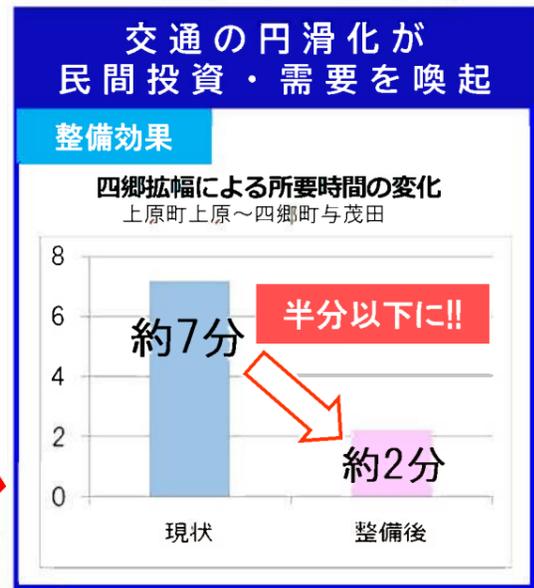


※ 乗用車輸出台数 出典：名古屋税関  
※ 工場生産台数 出典：トヨタ自動車HP

## 国道419号 四郷拡幅 ～交通需要の増加に合わせた4車線化整備～

円滑な人流・物流を確保し、定住人口の増加や、企業活動を支えるため、土地区画整理事業や産業団地の拡張事業に合わせた道路の整備が必要です。

- 中心市街地から東海環状自動車道豊田藤岡ICへのアクセスである本事業区間は、交通量が多く、慢性的な渋滞が発生しています。
- 現在、国道419号周辺では、四郷駅周辺での土地区画整理事業や花本産業団地の拡張事業などを推進しており、事業の進展に伴う交通需要の更なる増加に対応するため、**国道419号の整備** が必要です。



(民間プローブデータより豊田市が算出)

# 豊田市の幹線道路網整備等に関する要望路線【位置図】(参考)



## 持続的な経済成長の実現

- 物流ネットワークの機能強化**
- 国道153号 豊田北バイパス
  - 国道155号 豊田南バイパス
  - 国道301号 松平バイパス
  - (都)豊田刈谷線(一般県道宮上知立線バイパス)
  - ・主要地方道豊田安城線(榑塚西町～福受町)
  - ・(都)高橋細谷線
- 高規格幹線道路へのアクセスの強化**
- 国道419号(四郷拡幅)
  - ・国道301号 益富拡幅
  - ・(都)豊田則定線(寺部町～高橋町)
  - ・国道419号(西中山バイパス)
  - ・国道419号(四郷亀首拡幅)
- 日常生活移動の円滑化**
- ・国道419号 藤岡飯野交差点

## 豊かで活力ある地方創り

- 市域の一体性・交流を支える道路の整備**
- ・国道420号 足助バイパス
  - ・国道473号(和合町)
  - ・主要地方道足助下山線(簗林町)
  - ・国道257号(中当町)
  - ・国道301号 根引林添バイパス
  - ・主要地方道足助下山線(大沼町)
  - ・主要地方道豊田明智線(浅谷町～須測町)
  - ・主要地方道岡崎足助線(鍋田町)

## 市民の安全・安心の確保

- 緊急輸送道路の信頼性の向上**
- 国道153号 伊勢神改良
  - ・国道153号、国道155号の防災対策
  - ・国道301号、国道419号、国道420号、主要地方道瀬戸設楽線、豊田明智線、岡崎足助線、土岐足助線の防災対策
  - ・国道153号、国道155号の橋梁の耐震対策
  - ・一般県道豊田環状線の橋梁の耐震対策
  - ・国道153号小田木、野入地区交通安全対策

凡例	
	重点要望事項 (国事業)
	重点要望事項 (愛知県事業)
	要望事項 ※○は最重点要望事項

令和5年 7月10日

豊田市幹線道路整備促進協議会

会長 豊田市長

太田稔彦

豊田市議会議長

木本文也

豊田商工会議所会頭

三宅英臣